

「第2回世界都市対抗子ども将棋団体戦（WICSTC）」の開催要項（規約）

2024年4月4日現在

はじめに

「第1回世界都市対抗子ども将棋団体戦（WICSTC）」は、2023年に北東アジア、東南アジア、オセアニア地域を対象に開催されました。今年は、ヨーロッパとアフリカを対象に第2回 WICSTC を開催します。

この第2回大会では、決勝に進出した2チームが日本に招待され、決勝戦を行います。主催者である ISPS は、今年11月7日～9日に日本将棋連盟が主催する第9回国際将棋フォーラムの会場で決勝戦を開催できるよう、現在日本将棋連盟と協議中です。

1. 主催者等

大会名：「世界都市対抗子ども将棋団体戦（WICSTC）」

主催者：国際将棋普及協会(ISPS)

(注:ISPS は日本の非営利団体です)

後援：日本将棋連盟、外務省(予定)

協力：欧州将棋連盟(FESA)

日本将棋連盟海外支部

特別協力：全日本空輸株式会社(ANA)

会場：国/都市予選の会場は各国/都市の責任者が決定します。決勝トーナメントはオンラインで開催されます。決勝戦は東京の日本将棋連盟将棋会館で開催されます。

2. スケジュール（予定）

- 実施要項の公表

- 参加国・都市の責任者への応募要項の発行：

- 国・都市の責任者との連絡

== 2024年3月16日～4月30日

- 各参加国・都市の予選大会の実施：

== 5月1日～6月15日

- 決勝トーナメントへのチームの応募

== 6月15日～7月15日

- 決勝トーナメントの実施

== 7月16日～8月16日

- 日本に招待する2チームの決定

== 9月1日～15日

- 日本での決勝戦の準備

== 9月16日～

- 決勝戦

= 11月7日～11日のいずれかの日付

3. 参加都市・国の地域予選および決勝トーナメント

大会には都市チームの参加が望ましいが、複数の都市の混合チームも参加可能。各都市が3人の子供のチームを編成できない場合、同じ国内の都市の参加は許可されます。(例：ストラスブール、コルマール、およびフランスの他の都市との混合チームは許可されます。)

(1) 各参加都市/国の地域予選（予選）ラウンドは、各都市/国の責任ある主催者によって行われます。ただし、/国間の調整が必要な場合は、ISPSは各都市/国の責任ある主催者と協力して、予選ラウンド中に発生する可能性のある問題を解決します。

調整が困難な場合は、ISPSが最終決定を下します。

ISPSは、都市/国の主催者に、都市間の時差を考慮して、ゲームのスケジュールを柔軟に調整するよう求めます。各国の主催者は、写真を含む地域予選ラウンドの書面によるレポートをISPSに提出します。

(2) 決勝トーナメント

ISPSは、都市/国別チームによる決勝トーナメントの抽選を行い、トーナメントのスケジュールを決定します。決勝トーナメントは、予選ラウンドを勝ち抜いた各国最大2チームによるオンライントーナメントです。

チームの選出方法は、国（都市）予選への応募チーム数が確定した後、各国の主催者と協議し、国（都市）予選への応募者数を考慮し、ISPSが決定します。

決勝トーナメントへの応募は、ISPSのウェブサイトから行います。チーム名、チーム責任者（コーチ）、チームメンバー3名の名前、連絡先（メールアドレス等）などを、ISPSのウェブサイトにある応募フォームからメールでISPSに送信してください。

原則として、同一都市から2チームまでが参加できます。決勝に残った2チームは日本に招待されます。

4. 参加資格

(1) 参加者は日本国外在住の児童であること。2024年11月1日時点で15歳以下であること。参加者は日本国籍以外であること。ただし、ISPSが承認した場合は、例外的にチームメンバー3人のうち1人が日本国籍の児童であっても構いません。

(2) 原則として、各チームには英語または日本語が堪能なチームリーダー（コーチ）が1人必要です。

(3) 決勝戦は日本で開催されます。決勝戦に参加するチームメンバーは、日本への渡航について保護者の許可を得なければなりません。

5. 参加都市

第2回大会は、ヨーロッパおよびアフリカ地域で開催されます。

(参加都市は以下の国に所在する都市ですが、追加都市は除く)

は検討中です。

オーストリア、ベルギー、ベラルーシ、チェコ共和国、デンマーク、スペイン、フィンランド、フランス、イギ

リス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、イタリア、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、スロバキア、スイス、スウェーデン、ウクライナ、ブルガリア、ジョージア、トルコ、アイスランド、コートジボワール、チュニジア、モザンビーク、ウガンダ

6. 決勝に参加するチーム

(1) ヨーロッパとアフリカからの決勝進出チーム 2 チーム (各チームから 1 名の責任者 (コーチ) と 3 名の選手) を日本に招待します。

ISPS はスポンサー航空会社が提供する航空券を現物で提供しますが、利用可能な航空路線に制限がある場合があるため、発生した旅費の一定割合を補助します。

(注: 例として、ロンドン ⇨ 成田 (羽田) およびフランクフルト ⇨ 成田 (羽田) の航空券は支給されますが、最寄りの空港からロンドンまたはフランクフルトまでの移動にかかる旅費の一定割合を ISPS が負担します。補助金額は別途連絡します。)

(2) ISPS は宿泊費および生活費について概算額を支給しますが、支給額を超える金額は参加者の自己負担となります。

(3) 担当チームリーダーおよび招待された 2 チームのメンバー 3 名は、日本への招待に必要なデータ (パスポートのコピーを含む) を主催者に速やかに通知するものとします。

滞在中の観光、医療、国内移動にかかる費用は自己負担となります。

(4) ISPS は、日本滞在中の招待者を誠意を持って対応しますが、日本滞在中に発生する事故、怪我、病気、その他のトラブルについては一切責任を負いません。

7. 競技方法

7.1. 決勝トーナメントは準決勝までオンラインで実施します。決勝は日本で対面で実施します。

優勝者、準優勝者、3 位入賞者を決定し、賞状 (各 1 名) と賞品 (各 3 名) を授与します。

7.2. 決勝トーナメントの詳細は、トーナメントの 2 週間前までに各チームの担当チームリーダーにメールで通知されますが、以下のルールが適用されます。

7.3. 基本的な形式は次のとおりです。

(1) トーナメントは、「81 Dojo」プラットフォームと Zoom の両方を使用してオンラインで実施します。

Zoom の適用が困難な場合は、各都市の協力者と協議の上、適切な通信システムを採用します。

(2) 主催者である ISPS は、不正行為を防ぐために 81 Dojo プラットフォームと Zoom を使用してゲームを監視します。ゲームに必要なオンラインおよび Zoom 環境は参加者が用意します。

(3) 決勝トーナメントは、各国の責任者と協議の上、ISPS が運営します。

(4) 問題が生じた場合は、ISPS が最終決定します。

- (5) 参加費は無料です。幅広いチームを誘致するため、チーム編成は柔軟に対応します。
- (6) 大会は3人チーム戦です。席順は各ラウンドで変更される場合があります。原則として、3試合は同時に開始されます。
- (7) ISPSは、各チームの先手と後手を担当チームリーダーに通知し、各チームはISPSの通知に従って、待ちゲーム(81道場)を設定します。
- (8) 決勝トーナメント中のチームメンバーは同じです。
- (9) 試合は、すべて平等なゲーム(平手ゲーム)で行われます。先手と後手はISPSが決定します。
- (10) 対戦時間は各30分です。この時間が終了したら、各対戦者に30秒の指し手が与えられます。
- (11) 対局ルールは、原則として日本将棋連盟のルールに従います。詳細な対局ルールは別途発表します。
- (12) 主催者は、AIソフトの使用など不正な対局を防止するため、対局を監視します。原則として、ISPSの理事は対局時にオンラインで立ち会います。

8. 賞品

優勝、準優勝、3位のチームには、賞状(各1枚)と記念品(各3個)が贈られます。賞品の詳細は別途発表します。

9. 大会役員等

大会役員および市責任者は別途決定します。